

## 伊高今昔 ～76期生が同窓職員に聞いてみた！～

76期生：当時の生徒数はどうでしたか？

切手教頭：自分たちの頃は、1学年が1クラス45人の7クラスで315人定員でした。全校生徒は940人ぐらいです。当時は315人定員だったけどプラスアルファもあったんですよ。

木下先生：私たちの頃は1学年が1クラス40人の8クラスで320人でした。

76期生：今はないけど、昔はあった部活動とかはどうですか？

木下先生：私は体操部でした。体操部の中には器械体操の部門と新体操の部門があり、器械体操の方は九州大会に出場したりしていました。

切手教頭：自分たちの頃は体操部ではなくて新体操部でした。僕は野球部でした。国語科の八木先生は3年先輩だったので入れ替わりでした。あと、昔は空手部・柔道部もありました。水泳部は昔もありましたが、当時のプールは50mありました。50mプールは県内では珍しかったんですよ。そういえば、その頃は校内水泳大会があって、注目競技は潜水でした。選手はずっとプールの底を潜っていて、息が切れると浮き上がってきて盛り上がりましたね。

76期生：当時よく行った店とかあったんですか？

切手教頭・木下先生：木村ベーカリー！

切手教頭：なんと言っても木村ベーカリー。木村屋とか言ってたんですが、駅前の木村屋に行こうとか言いながら行っては50円のメロンソーダを注文していましたね。あとは、50円の野菜パンがあって、あわせて100円で買って食べていました。

木下先生：私はフローズンを買ってましたね。

切手教頭：すぐその山口菓子店は自分の同級生の女の子がいましたが、昔はフルーツもあったような気がします。そこに行く連中もいましたよ。でも、伊集院高校のソウルフードは間違いなく野菜パンでしたね。当時の人たちは野菜パンと言えば伊高生と答えると思います。

木下先生：文化祭のとき、野菜パンを校内で販売していましたよ。

切手教頭：キャベツの千切りが入ってて、外は揚げパンでした。中の野菜は外からは見えないようになっていましたね。

76期生：当時の進路はどうでしたか？

木下先生：はっきりした記憶ではありませんが、私たちの頃は国公立大学に100人越えて入っていたと思います。私大に行く生徒も合わせたら相当な生徒が大学進学でした。就職はクラスに1人か2人ぐらいでした。

切手教頭：木下先生の頃が一番成績が良かったときだったんじゃないかな。

木下先生：浪人して東大に行った人もいましたよ。

切手教頭：僕らの頃はそこまでではなかったです。国公立大学50人ぐらいでした。その中には、九大に行って、今大学教授やっている人もいますよ。九大に3、4人行くのが普通だったので、九大を受験していた人はもっといたと思います。当時は理系2クラス、文系5クラスだったんです。文系クラスは国公立志望クラス、短大クラス、就職クラス、私立大志望クラス。理系の2クラスは1クラ

スが男子クラスで、もう1クラスが男女混合クラスでした。体育祭のダンスでは男子クラスのパートナーは、短大クラス的女子クラスだったので一緒にダンスができることで盛り上がりましたね。クラスマッチでは短大クラスの子たちが男子クラスにはちまきを作ってくれてうれしかったですね。まあ、誰が作ったのはちまきかは分かりませんでした。

76期生：当時の校則はどうでしたか？

木下先生：はやりの髪型禁止は私の頃からありました。服装検査が全校朝礼の時にあったんですが、当時は生徒手帳を持っているかもチェックがあって、持っていないとその場で立たされていました。

切手教頭：自分たちの頃は結構自由だったんですよ。ちょうどその頃は若い人が世の中に反抗するのは当たり前みたいな風潮があって、ヤンキー服を着ている人もいましたね。決して不良というわけではないのに着ていて、ヤンキー服着ているのに頭がいいみたいなのがかっこいいという時代でした。九大に行った先輩も髪はリーゼントでした。氣志團やビーバップハイスクールみたいな感じですね。中学校の校則がものすごく厳しかったんですよ。それが高校に入ると急に自由な感じになって、好きなことができましたね。バイク通学生もすごく多かったです。スクーターじゃなくて、スポーツタイプの原付に乗っている人が多かったですね。ただ、勉強にもスポーツにも遊びにも気迫がある生徒は多かったですね。気合・根性・昭和みたいな雰囲気でした。

木下先生：安室奈美恵とかシャ乱Qの影響が強かったですね。髪より眉毛をいじる女子が多くいて、生徒指導がすごく厳しかったです。男子は腰パンがちょうど流行し始めた頃だったと思います。ちょうどその頃は伊集院に生徒指導ができる先生が来たみたいな噂話があって、指導が厳しくなったんですよ。

切手教頭：自分たちがやり過ぎたから、そうなったのかもしれないね。でも、現状に意見を言う若者がいなくなったら日本は終わりだと思うんですよ。

木下先生：補助バッグは学校指定のもので、グレーの地味なバッグでした。

切手教頭：自分たちの頃はマジソンスクウェアガーデンのバッグが流行っていたから、それが指定になっていたらしいです。先生たちがそうしたようですね。ただ、野球部だけは別のバッグを使っていたんですよ。生徒総会の時に何で野球部だけ自分たちのバッグを使っているのか野球部のキャプテンが説明しなさいということになったんです。自分がキャプテンだったので、説明に困りましたね。でも、鹿児島弁で説明したら大爆笑でした。

76期生：以前は学食があったようですが、どうでしたか？

切手教頭：自分は弁当を作ってもらっていたので学食は全く使いませんでした。同級生は4限終了後、食堂にダッシュしていましたね。チャイムが鳴っても授業が続くとみんなイライラして大変でしたよ。

木下先生：野球部＝学食のイメージでしたよね。私はコロツケカレーが好きでした。裏メニューみたいなのがあったんですが、注文の仕方がよく分かりませんでした。若い先生たちもよく来ていたから生徒と先生たちの距離も縮まりましたよね。

76期生：本日は貴重なお話をどうもありがとうございました。